

2018年12月期
決算説明会

2019年2月21日

株式会社ソディック



2017年12月期 連結対象期間について

I. 2018年12月期 決算概要	4
II. 比較参考数値	17
III. 2019年12月期 業績予想	21
IV. 株主還元	26
V. 中期計画	28
(参考資料)	30

2017年12月期 連結対象期間について

- ✓ 2017年度より決算期を3月31日から12月31日に変更し、中国の子会社との3ヶ月間の期ズレを解消。2017年12月期は9ヶ月間の変則決算となります。

①2017年12月期 の連結対象期間（財務報告ベース）

- 3月決算会社：2017年4～12月 ●12月決算会社(中国の7社)：2017年1～12月

		2017年12月期			2018年12月期			
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
	1-3月	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q
旧3月決算会社		9ヶ月			12ヶ月			
12月決算会社		12ヶ月			12ヶ月			

②比較参考数値の連結対象期間（比較参考数値：調整後）

- 2017年：全社 2017年1～12月 ●2018年：全社 2018年1～12月

		2017年12月期			2018年12月期			
		4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
	1-3月	1Q	2Q	3Q	1Q	2Q	3Q	4Q
旧3月決算会社								
12月決算会社								

※比較参考数値はP.17～P.20 をご参照下さい。

I. 2018年12月期 決算概要

業績ハイライト（財務報告ベース）



- ✓ 中華圏を中心に放電加工機の販売台数が増加したことにより、売上高・営業利益共に過去最高を更新。
- ✓ 放電加工機の販売台数が増加したほか、生産性が向上したことにより、売上総利益率が改善。

(百万円)

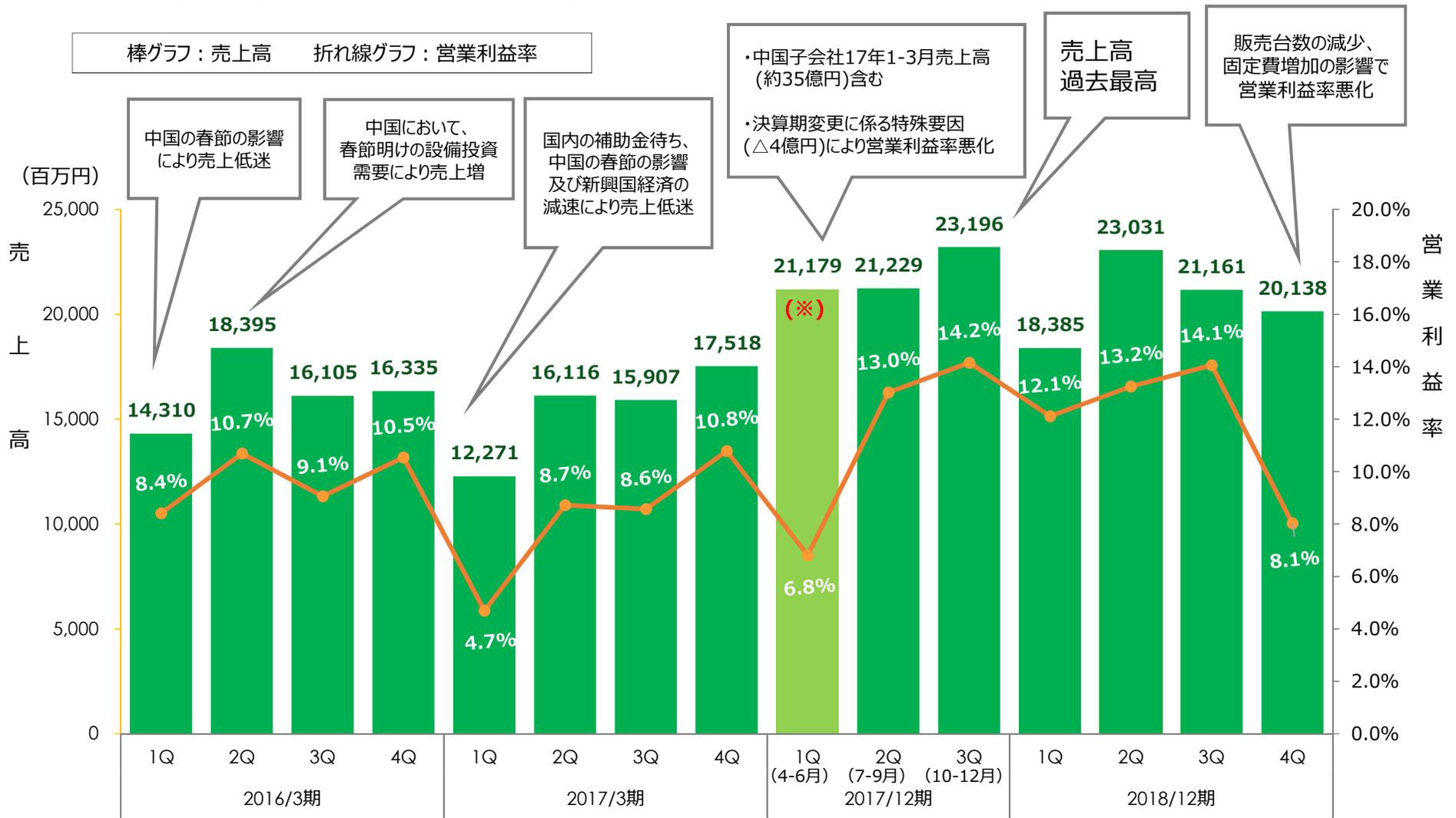
	2017年12月期		2018年12月期		2018年12月期 通期予想 (11/13修正)
	実績	利益率	実績	利益率	
売上高	65,604	-	82,716	-	80,000
売上総利益	23,159	35.3%	30,227	36.5%	-
営業利益	7,490	11.4%	9,888	12.0%	10,000
経常利益	7,910	12.1%	9,619	11.6%	10,000
純利益	5,736	8.7%	6,462	7.8%	6,800
	売上高比率		売上高比率		
ROE（当期純利益/自己資本（期中平均））	11.1%	-	11.4%	-	
設備投資額	4,588	7.0%	8,576	10.4%	8,000
減価償却費	2,360	3.6%	3,085	3.7%	3,300
研究開発費	3,344	5.1%	3,902	4.7%	4,200
期中平均 為替レート	ドル	111.69 円		110.44 円	111.00 円
	ユーロ	128.55 円		130.35 円	131.00 円
	人民元	16.62 円		16.71 円	16.70 円
	バーツ	3.33 円		3.42 円	3.40 円

※参考情報 2018年12月末 為替レート ドル：111.00円 ユーロ：127.00円 人民元：16.16円 バーツ：3.41円
2017年12月末 為替レート ドル：113.00円 ユーロ：134.94円 人民元：17.29円 バーツ：3.45円

※決算期変更に伴い、2017年12月期は旧3月決算会社は4～12月の9ヶ月間、12月決算会社は1～12月の12ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前期比増減については記載しておりません。

売上高・営業利益率推移（四半期毎）

- ✓ 中国では例年の秋口以降に受注が減速する季節要因に加え、スマートフォン関連向けの需要縮小、米中貿易摩擦による投資判断の先送りなどが顕在化し、第3四半期以降受注が減速。
- ✓ 第4四半期は販売台数が伸び悩んだほか固定費の増加等により、営業利益率は8.1%に低下。



(※)決算期変更による変則決算のため、中国の12月決算会社の17年1-3月の数値を含みます。

セグメント別業績（財務報告ベース）



(百万円)

		2017年12月期	2018年12月期	2018年12月期 通期予想 (11/13修正)
		実績	実績	
売上高	● 工作機械事業	47,559	58,607	56,000
	● 産業機械事業	9,981	11,155	10,500
	● 食品機械事業	3,467	6,560	6,800
	● その他事業	4,596	6,392	6,700
		65,604	82,716	80,000
セグメント利益	● 工作機械事業	7,478	9,988	10,000
	● 産業機械事業	976	802	700
	● 食品機械事業	178	674	800
	● その他事業	847	1,030	1,000
		9,481	12,496	12,500
調整額		△ 1,991	△ 2,607	△ 2,500
営業利益 合計		7,490	9,888	10,000

工作機械事業

- ✓ 中国では、ものづくりの高度化や自動化対応、電動化が進む自動車関連、半導体関連など成長市場を中心に継続的な需要が見られる一方、秋口以降に受注が減速する季節要因に加え、米中貿易摩擦による投資判断の先送りなどが顕在化し、第3四半期以降受注が減速。
- ✓ 国内は自動車及び半導体関連が引き続き堅調。
- ✓ 北米は自動車関連で堅調。
- ✓ 欧州（ドイツ、イタリア）は、自動車、航空宇宙関連で需要あり。
- ✓ その他アジア地域（タイ、インド、マレーシア等）は自動車関連が底堅く推移。

産業機械事業

- ✓ 日本はコネクタ、センサー部品などの自動車関連が堅調。
- ✓ 北米は医療機器関連を中心に引き続き安定した需要あり。
- ✓ 中国、アジアはスマートフォン関連からの需要減少、販売は伸び悩む。

食品機械事業

- ✓ 麺の品質向上のための設備投資需要は中国での大口案件を含め、引き続き堅調。
- ✓ 日本及びアジアで包装米飯製造装置の需要増加。

その他事業

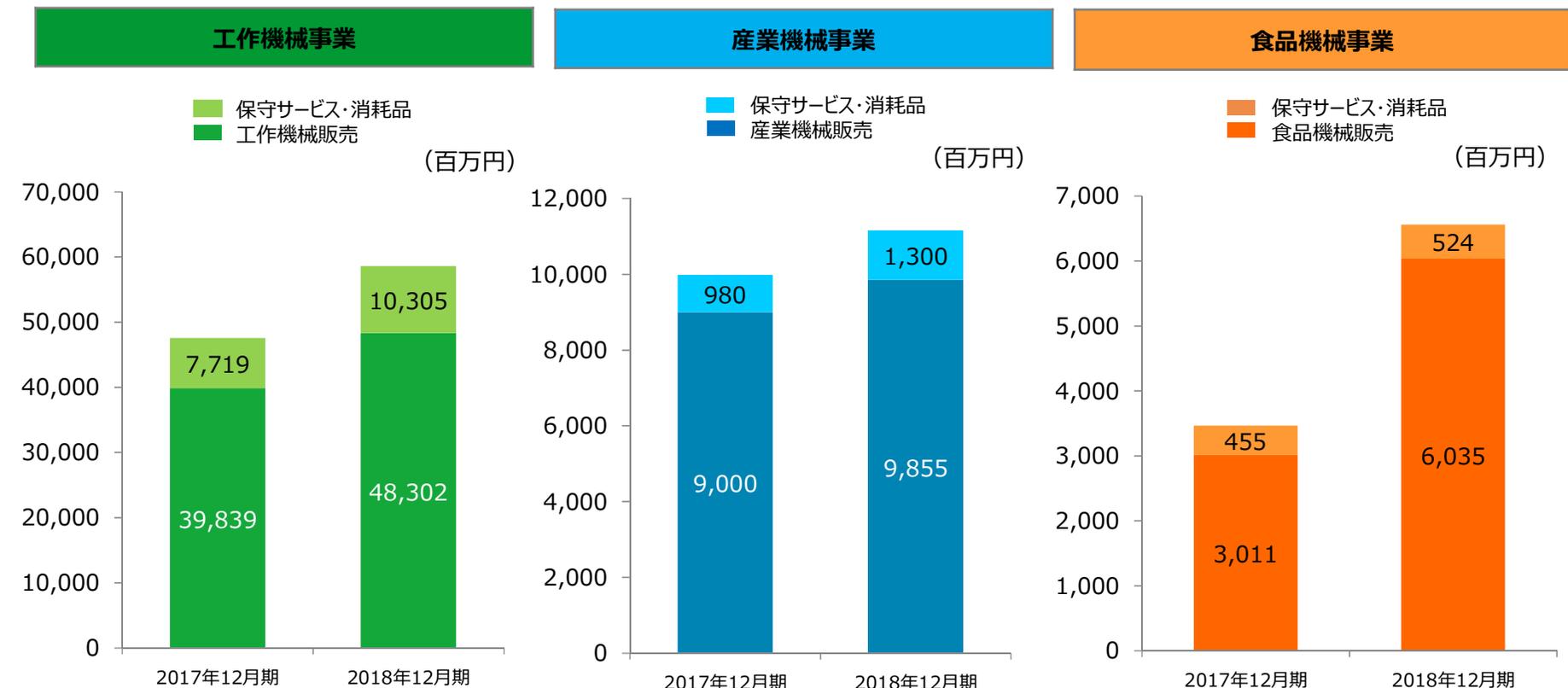
- ✓ 精密金型・精密成形事業は金属3Dプリンタで造形した金型とその専用射出成形機を使った高精密度成形の実現に向け、ロボットを活用した自動化ライン等の開発に取組中。
- ✓ 半導体製造装置向けを中心にセラミックスの販売が好調。

※決算期変更に伴い、2017年12月期は旧3月決算会社は4～12月の9ヶ月間、12月決算会社は1～12月の12ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前期比増減については記載しておりません。

セグメント別 売上高内訳 (財務報告ベース)



✓ 安定キャッシュを生み出す保守サービス・消耗品の売上高は16%程度を占める。



	工作機械事業				産業機械事業				食品機械事業			
	2017年12月期		2018年12月期		2017年12月期		2018年12月期		2017年12月期		2018年12月期	
機械販売	39,839	83.8%	48,302	82.4%	9,000	90.2%	9,855	88.3%	3,011	86.9%	6,035	92.0%
保守サービス 消耗品	7,719	16.2%	10,305	17.6%	980	9.8%	1,300	11.7%	455	13.1%	524	8.0%
合計	47,559		58,607		9,981		11,155		3,467		6,560	

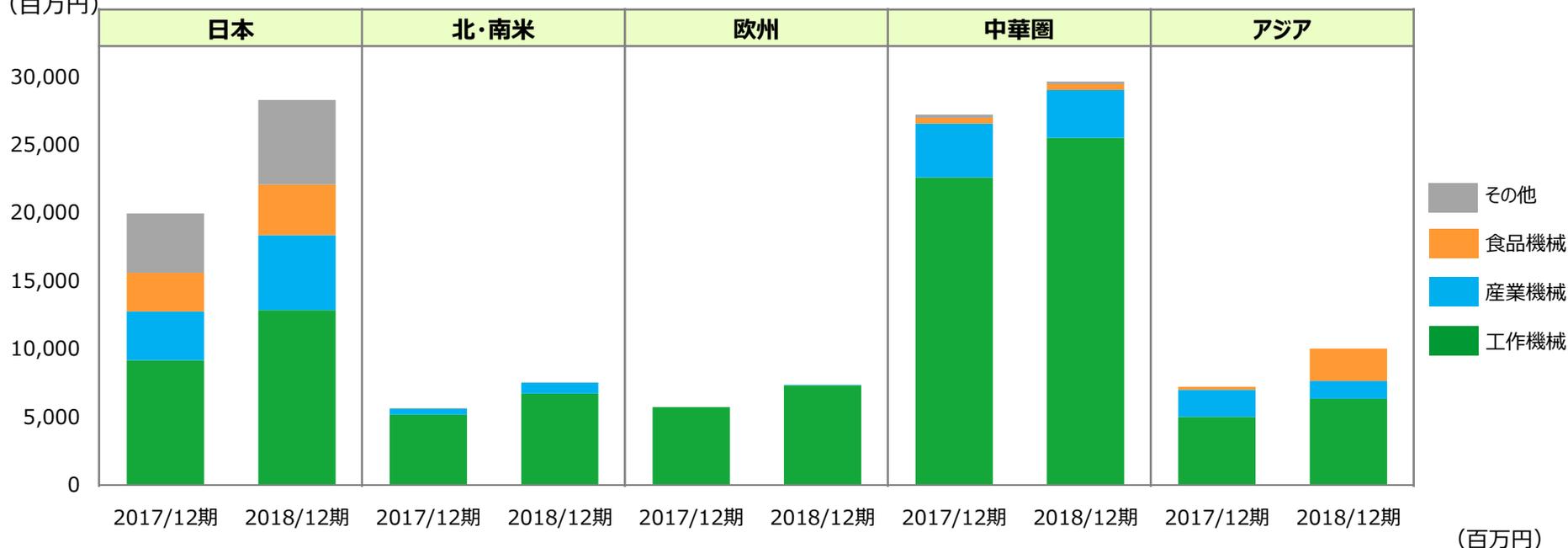
※決算期変更に伴い、2017年12月期は旧3月決算会社は4～12月の9ヶ月間、12月決算会社は1～12月の12ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算となっております。

事業別海外売上高比率（財務報告ベース）



✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は65.8%

(百万円)



2017年12月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	9,143	19.2%	5,149	10.8%	5,702	12.0%	22,575	47.5%	4,987	10.5%	47,559	72.5%
産業機械	3,581	35.9%	451	4.5%	0	0.0%	3,956	39.6%	1,991	20.0%	9,981	15.2%
食品機械	2,844	82.1%	1	0.0%	-	-	409	11.8%	211	6.1%	3,467	5.3%
その他	4,358	94.8%	-	-	-	-	238	5.2%	-	-	4,596	7.0%
地域別計	19,928	30.4%	5,603	8.5%	5,702	8.7%	27,179	41.4%	7,190	11.0%	65,604	100.0%

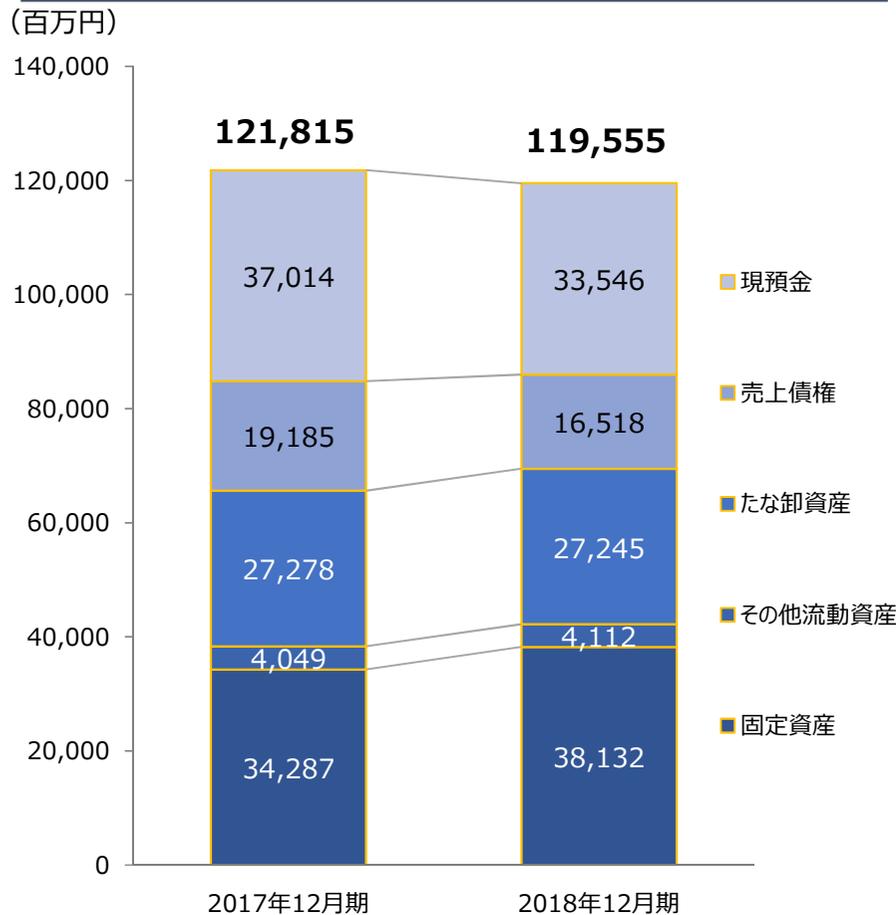
2018年12月期	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	12,824	21.9%	6,692	11.4%	7,282	12.4%	25,483	43.5%	6,324	10.8%	58,607	70.9%
産業機械	5,511	49.4%	790	7.1%	44	0.4%	3,503	31.4%	1,306	11.7%	11,155	13.5%
食品機械	3,712	56.6%	14	0.2%	-	-	456	7.0%	2,376	36.2%	6,560	7.9%
その他	6,218	97.3%	-	-	-	-	174	2.7%	-	-	6,392	7.7%
地域別計	28,266	34.2%	7,496	9.1%	7,326	8.8%	29,617	35.8%	10,008	12.1%	82,716	100.0%

※決算期変更に伴い、2017年12月期は旧3月決算会社は4～12月の9ヶ月間、12月決算会社は1～12月の12ヶ月間を連結対象期間とした変則的な決算です。

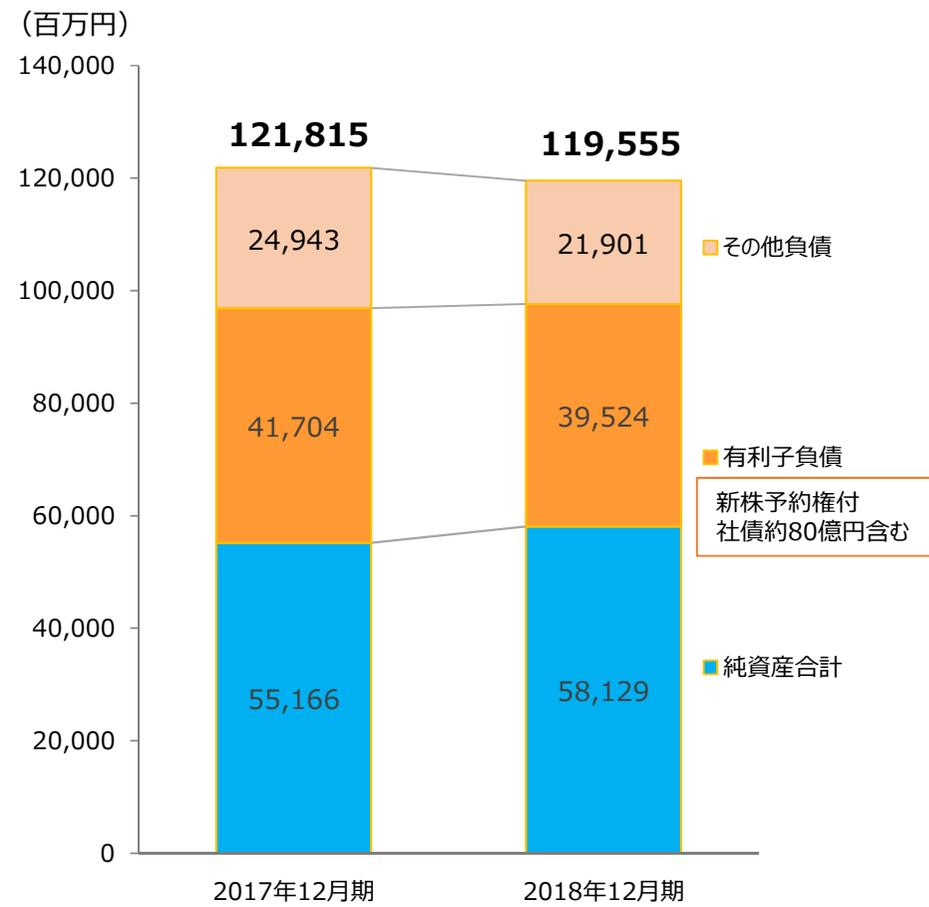
貸借対照表

- ✓ 国内外の積極的な設備投資に伴い、固定資産が大幅に増加。
 (加賀マルチファクトリー、物流センター、本社2号棟(研究棟)、北米販社新オフィス、欧州販社新オフィス用土地、タイ工場第2工場増設、宮崎工場(精密金型精密成形事業)など)

資産

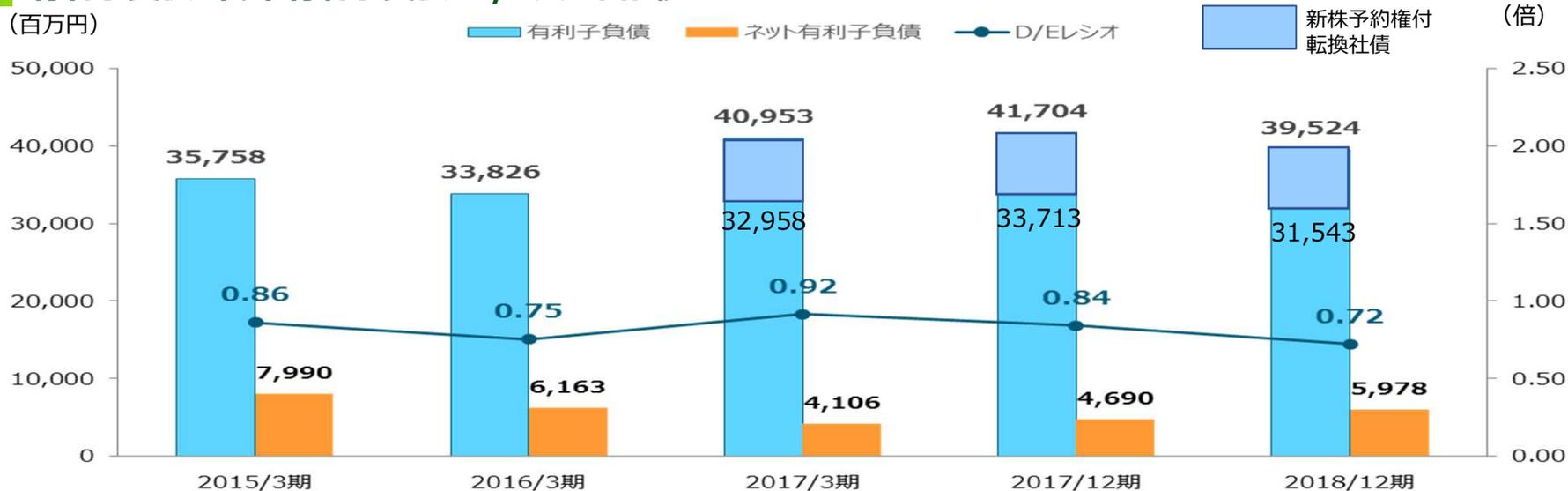


負債・純資産

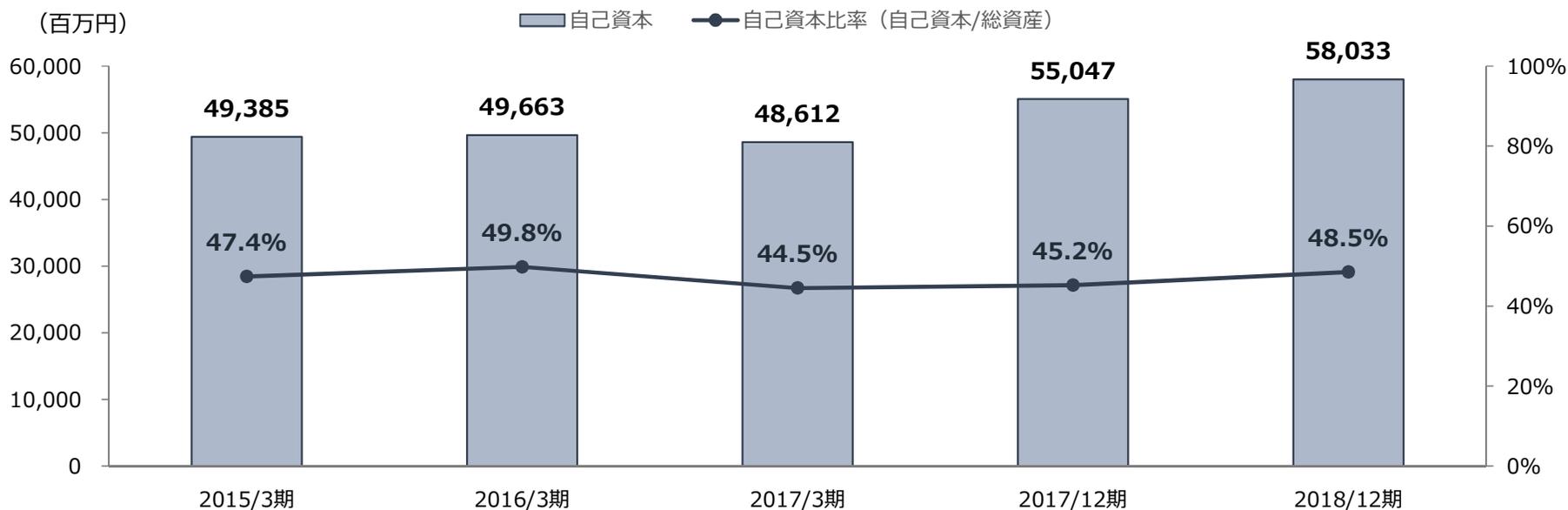


※参考情報 2018年12月末 為替レート ドル：111.00円 ユーロ：127.00円 人民元：16.16円 バーツ：3.41円
 2017年12月末 為替レート ドル：113.00円 ユーロ：134.94円 人民元：17.29円 バーツ：3.45円

有利子負債・ネット有利子負債・D/Eレシオ 推移



自己資本・自己資本比率 推移

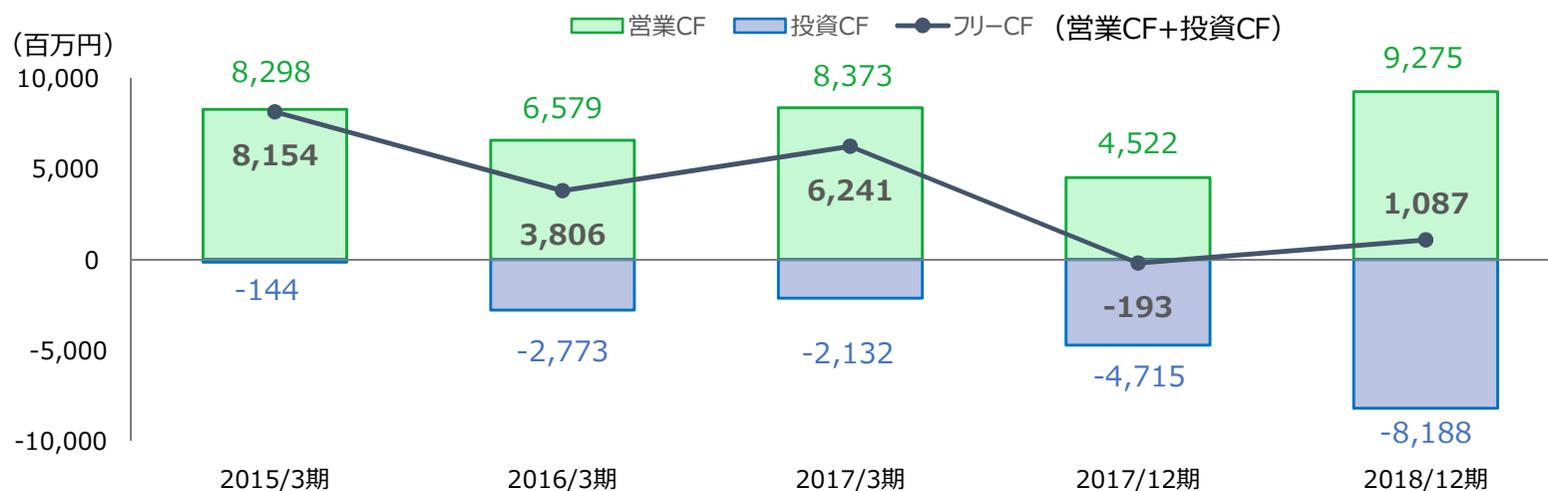


キャッシュ・フロー

- ✓ 投資活動によるキャッシュ・フローが大幅に増加しているものの、営業キャッシュフローの範囲内に収まっており、フリーキャッシュフローはプラスを維持。

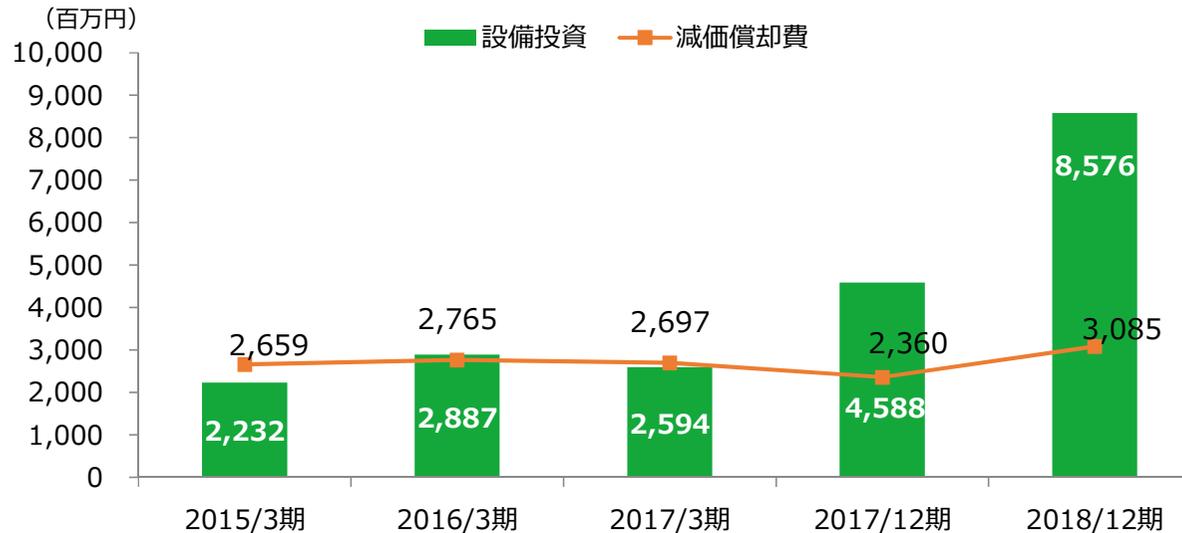
(百万円)

	2017年12月期	2018年12月期	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,522	9,275	売上債権の減少
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,715	△8,188	有形固定資産の取得
財務活動によるキャッシュ・フロー	△439	△3,485	長期借入金の返済による支出
現金及び現金同等物の期末残高	36,075	32,650	



設備投資／減価償却費／研究開発費

設備投資／減価償却費の推移



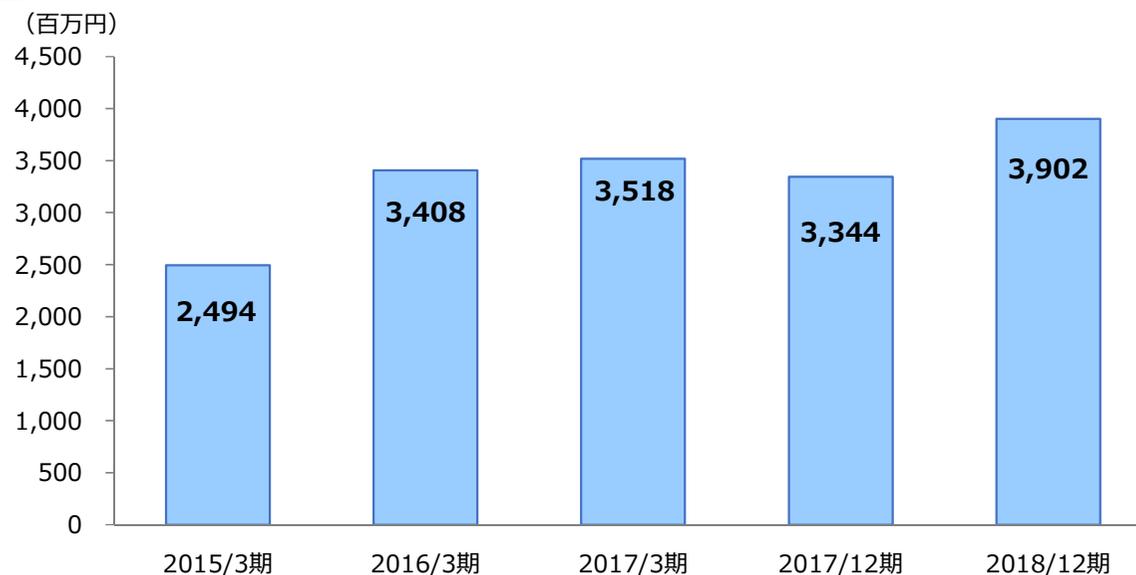
▶ 主な設備投資について

- ✓ 横浜本社 研究開発棟
- ✓ 加賀事業所 新物流センター
- ✓ 加賀事業所 マルチファクトリー
- ✓ タイ 第2工場増設、
生産能力増強に伴う生産設備
- ✓ アメリカ 営業拠点の新社屋
- ✓ 精密金型・精密成形事業 生産設備
- ✓ 欧州 営業拠点の新社屋

▶ 減価償却費について

- ✓ 2017年12月期での設備投資から減価償却費は増加。

研究開発費の推移



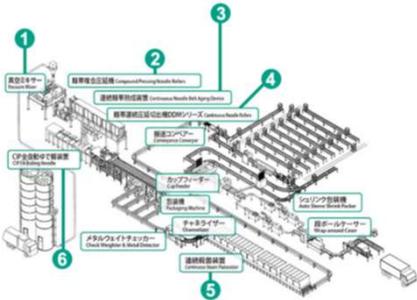
▶ 研究開発費について

- ✓ 金属3Dプリンタ関連、その他基礎研究の開発費増加。

2018年12月期リリース主な新製品

セグメント	工作機械			
<p>製品名</p>	<p>大型ワイヤ放電加工機 「AL800P」</p> 	<p>形彫り放電加工機 「AP30L」</p>  <p>2018年 「十六新製品賞本賞」受賞</p>	<p>細穴放電加工機 「K6HL」</p> 	<p>ナノマシニングセンタ 「AZ275nano」</p> 
<p>販売市場</p>	<p>航空宇宙、エネルギー、自動車、医療機器、電気・電子</p>	<p>精密・電子・電気機器、自動車</p>	<p>航空宇宙、エネルギー、自動車、医療機器、電気・電子</p>	<p>電気・電子、医療機器・バイオテクノロジー</p>
<p>製品特徴</p>	<p>より高精度・高速加工が可能な大型機。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車業界でのEV化の普及や適応モデルの拡張に伴う重要パーツであるモーターコアやリチウムイオン電池のセパレータ関連の精密プレス金型の高度化及び長尺化に対応可能。 ・大開口のフルカバー、独立式操作パネル、三面自動上下式加工タンクを標準装備し、大型ワークのセッティングなどを含む段取り作業の効率化を通じ生産性向上に寄与。 	<p>リアモータ駆動形彫り放電加工機のフラッグシップモデル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界初の自社製CFRP主軸搭載、自社開発・新NC装置「LP4」、放電安定加工システム「アークレス4」を搭載。設置環境の温度変化、高速駆動時の発熱を最小限に抑制。⇒より高精度な金型製造が可能。 ・AIを活用した最新アプリケーション搭載 	<ul style="list-style-type: none"> ・3軸リアモータ駆動により高加速で俊敏な駆動が可能となるほか、高速無電解回路により、難加工材料（チタン、ニッケル合金等）でも高品位な加工が可能に。 ・そのほか、加工時間の短縮や無人運転による省人化など作業効率の向上に寄与。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ナノ領域での高速で安定した超微細・超精密加工実現。 ・荒加工から仕上げ加工までの幅広い加工ニーズに対応。 ・XY軸ストロークアップによる加工領域の拡張と高効率化を実現。

2018年12月期リリース主な新製品

セグメント	工作機械	食品機械	食品機械
<p>製品名</p>	<p>金属3Dプリンタ 「LPM325」</p> 	<p>LL麺（ロングライフ麺） 製造装置</p> 	<p>十割そば対応 麺生地混合真空ミキサ</p> 
<p>販売市場</p>	<p>精密・電子・電気機器、自動車</p>	<p>製麺メーカー（国内・海外）</p>	<p>製麺メーカー（国内・海外）</p>
<p>製品特徴</p>	<p>金属粉末の溶融凝固による3D造形加工と、造形した加工物への基準面加工が1台の機械で行える金属3Dプリンタ。金属造形と二次加工用の基準面だけを加工する機能に限定することで、チャンバーが小型化され、窒素濃度管理やヒューム処理が容易になり、造形速度が大幅に向上。さらに、省スペース及び低価格化も実現。</p>	<p>LL麺の最終製造工程の殺菌工程にて酸味が生じる問題に対し、独自技術の開発により、酸味を低減でき、より高品質でおいしい麺の製造を実現。</p>	<p>つなががなく、生地混合が困難とされていた十割そば製造工程において、当社独自のミキシング機構を採用した真空ミキサを開発。最適な加水、生地攪拌を行うことで、機械での製造が難しいとされていた十割そばの生産が可能に。</p>

1 加賀事業所「マルチファクトリー」竣工

2018年11月27日に国内の主要生産拠点である加賀事業所内にマルチファクトリーが竣工致しました。

マルチファクトリーでは、生産品目を限定せず、事業環境や市場動向の変化に合わせた柔軟な生産体制を整備しています。セル生産での自動組立やIoTを活用した生産・生産管理・在庫管理を行い省人化・作業効率の向上を図ります。

【マルチファクトリー 概要】

場所：石川県加賀市宮町11-1（加賀事業所敷地内）

建設面積：約12,500㎡ 延床面積：約16,500㎡

総投資額：約32億円

生産品目：放電加工機、マシニングセンタ、金属3Dプリンタ、射出成形機など



▲マルチファクトリー外観

2 形彫り放電加工機「AP30L」が 2018年第61回「十大新製品賞 本賞」を受賞

このたび、リニアモータ駆動 高速・超精密 形彫り放電加工機「AP30L」が、日刊工業新聞社主催の2018年「第61回十大新製品賞 本賞」を受賞いたしました。

本賞は、独創的な発明で反響の大きかった製品や世界最高水準の性能を有する製品、モノづくり産業の発展や国際競争力の強化に役立つとみられるものなどが表彰されます。

形彫り放電加工機のフラグシップ機として、自社製CFRP搭載主軸、自社開発・新NC装置「LP4」、放電安定加工システム「アークレス4」のほか、AIを活用したアプリケーションなど、最新の技術を搭載しています。これら、ものづくりをリードする画期的な性能が高く評価され受賞の運びとなりました。

※受賞の詳細につきましては、以下HPをご参照ください

URL：<https://www.sodick.co.jp/company/winning.html>



▲授賞式の様子

Ⅱ. 比較参考数値

※監査法人による監査を受けていない参考数値です。

※比較参考数値は、決算期を3カ月ずらして連結していた中国の連結子会社の期ズレを解消し、
全会社の連結対象期間を統一し調整した数値です。

(百万円)

	2017年1～12月		2018年12月期 (2018年1～12月)		増減		2018年12月期 通期予想 (11/13修正)
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	
売上高	78,714	-	82,716	-	4,001	5.1%	80,000
売上総利益	28,483	36.2%	30,227	36.5%	1,743	6.1%	-
営業利益	9,161	11.6%	9,888	12.0%	726	7.9%	10,000
経常利益	9,384	11.9%	9,619	11.6%	235	2.5%	10,000
純利益	6,664	8.5%	6,462	7.8%	△201	△3.0%	6,800
	売上高比率		売上高比率				
設備投資額	5,334	6.8%	8,576	10.4%			8,000
減価償却費	3,149	4.0%	3,085	3.7%			3,300
研究開発費	4,108	5.2%	3,902	4.7%			4,200
期中平均 為替レート	ドル	112.16 円		110.44 円			111.00 円
	ユーロ	126.70 円		130.35 円			131.00 円
	人民元	16.62 円		16.71 円			16.70 円
	バーツ	3.31 円		3.42 円			3.40 円

※監査法人による監査を受けていない参考数値

セグメント別業績 ※比較参考数値（調整後）



(百万円)

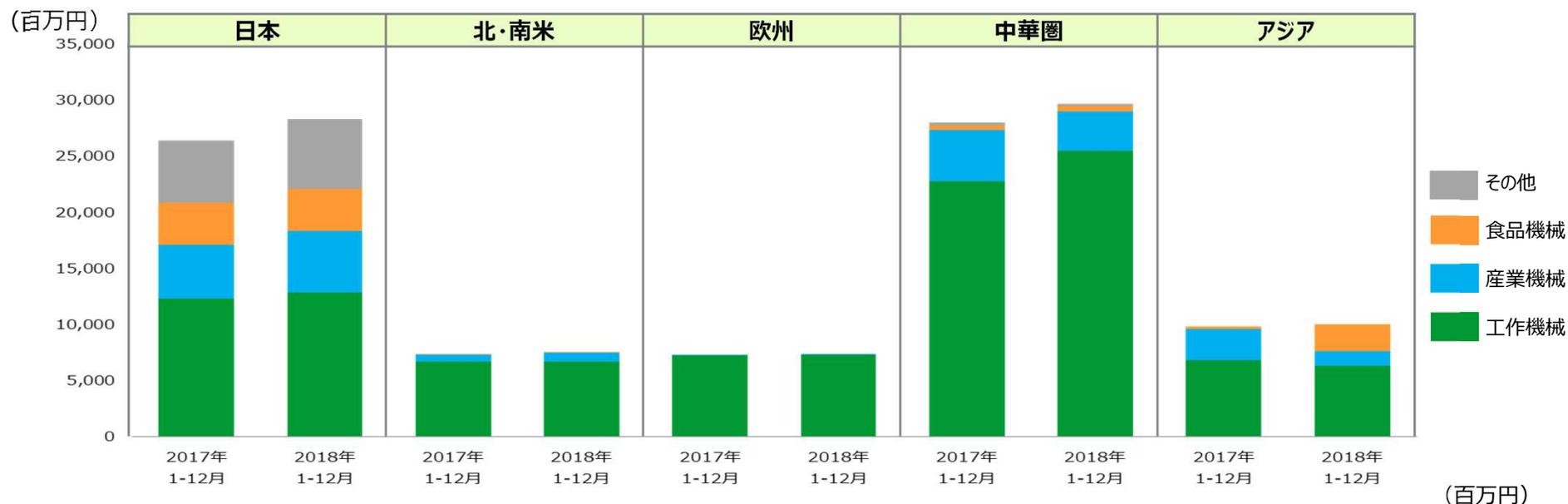
		2017年1~12月	2018年12月期 (2018年1~12月)	増減		2018年12月期 通期予想 (11/13修正)
		実績	実績	(額)	(率)	
売上高	● 工作機械事業	55,796	58,607	2,810	5.0%	56,000
	● 産業機械事業	12,721	11,155	△ 1,566	△12.3%	10,500
	● 食品機械事業	4,435	6,560	2,124	47.9%	6,800
	● その他事業	5,760	6,392	632	11.0%	6,700
		78,714	82,716	4,001	5.1%	80,000
セグメント 利益	● 工作機械事業	9,300	9,988	688	7.4%	10,000
	● 産業機械事業	1,471	802	△ 668	△45.4%	700
	● 食品機械事業	127	674	546	428.4%	800
	● その他事業	846	1,030	184	21.8%	1,000
		11,745	12,496	751	6.4%	12,500
	調整額	△ 2,583	△ 2,607	△ 24	0.9%	△ 2,500
	営業利益 合計	9,161	9,888	726	7.9%	10,000

※監査法人による監査を受けていない参考数値

事業別海外売上高比率 ※比較参考数値（調整後）



✓ グローバルに事業を展開、海外売上高比率は65.8%に増加（前年同期間比0.7ポイント減）



2017年1-12月	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	12,291	22.0%	6,710	12.0%	7,221	12.9%	22,776	40.9%	6,796	12.2%	55,796	70.9%
産業機械	4,786	37.6%	585	4.6%	0	0.0%	4,555	35.8%	2,795	22.0%	12,721	16.2%
食品機械	3,790	85.5%	20	0.5%	-	-	410	9.2%	213	4.8%	4,435	5.6%
その他	5,521	95.9%	-	-	-	-	239	4.1%	-	-	5,760	7.3%
地域別 計	26,389	33.5%	7,316	9.3%	7,222	9.2%	27,981	35.5%	9,805	12.5%	78,714	100.0%

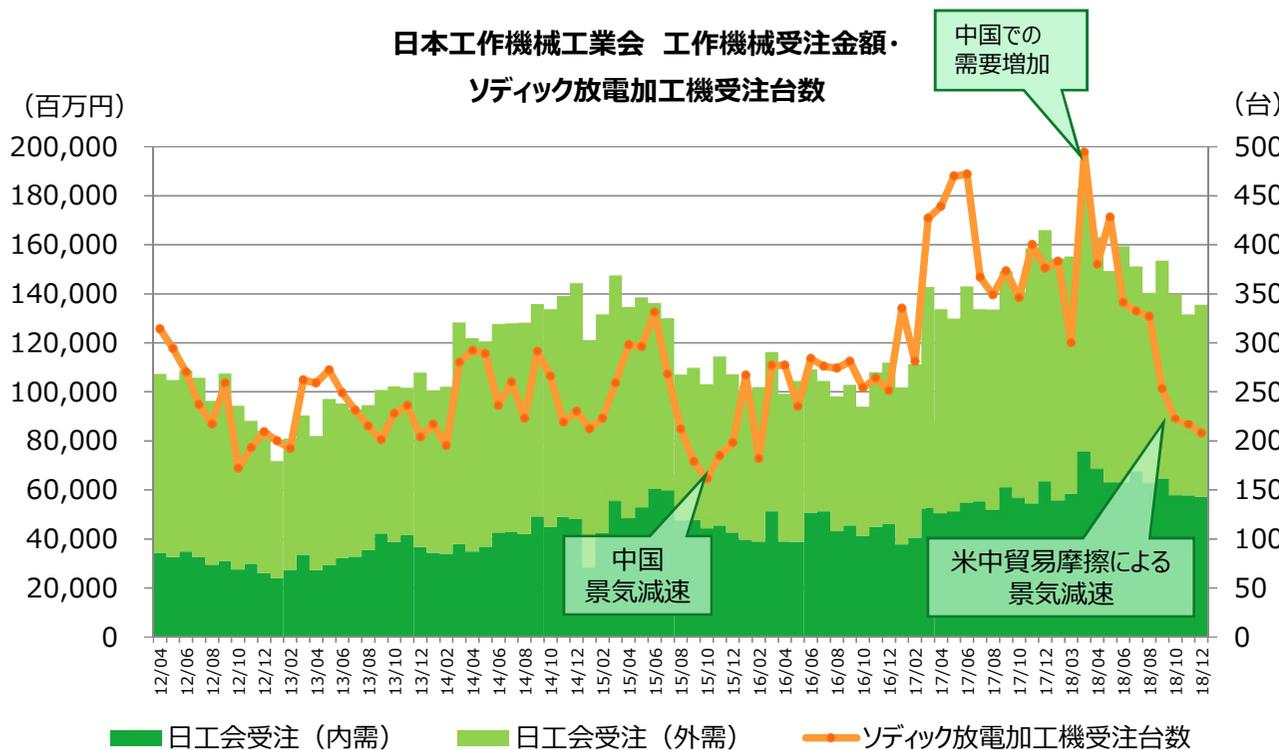
2018年12月期 (18年1-12月)	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	12,824	21.9%	6,692	11.4%	7,282	12.4%	25,483	43.5%	6,324	10.8%	58,607	70.9%
産業機械	5,511	49.4%	790	7.1%	44	0.4%	3,503	31.4%	1,306	11.7%	11,155	13.5%
食品機械	3,712	56.6%	14	0.2%	-	-	456	7.0%	2,376	36.2%	6,560	7.9%
その他	6,218	97.3%	-	-	-	-	174	2.7%	-	-	6,392	7.7%
地域別 計	28,266	34.2%	7,496	9.1%	7,326	8.8%	29,617	35.8%	10,008	12.1%	82,716	100.0%

※監査法人による監査を受けていない参考数値

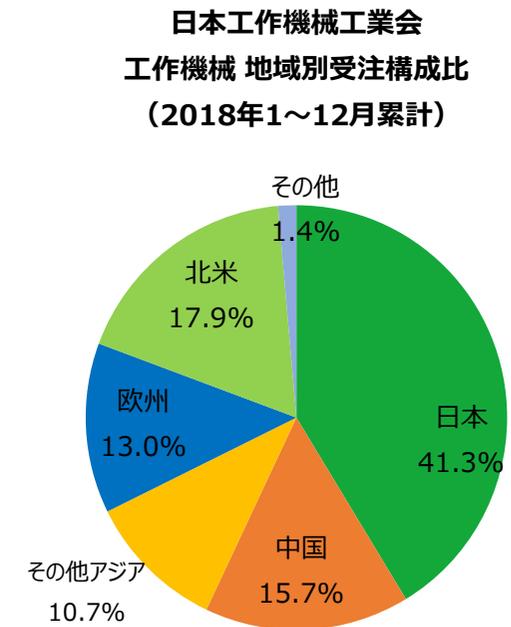
Ⅲ. 2019年12月期 業績予想

市場環境

- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要により、堅調な需要は継続する見通し。
- ✓ 北米：自動車、航空宇宙、医療機器関連を中心に設備投資需要が増加する見通し。
- ✓ 欧州：トルコなどの地域では減速感が見られる他、イギリスのEU離脱問題などもあり先行きに不透明感はあるものの、自動車、航空宇宙関連の需要は堅調に推移する見通し。
- ✓ 中国：ものづくりの高度化、人件費の高騰を背景とした自動化ニーズの高まり等もあり、自動車関連を中心に高精度な機械の需要は継続するものの、米中貿易摩擦などの影響により設備投資需要が減速し不透明感が高まっている。
- ✓ アジア：タイ、マレーシアなどでは自動車関連を中心に回復基調が継続する見通し。



出典：日本工作機械工業会



出典：日本工作機械工業会

2019年12月期 通期業績予想



- ✓ 当社の最大の市場である中国を中心として自動車関連をはじめ他分野においても、ものづくりの高度化による高精度機の潜在的な需要はあるものの、貿易摩擦等の影響による中国経済の減速により、今期は売上・利益共に伸び悩む見通し。

(百万円)

	2018年12月期		2019年12月期		増減	
	実績	利益率	計画	利益率	金額	率
売上高	82,716	-	76,800	-	△5,916	△7.2%
営業利益	9,888	12.0%	6,900	9.0%	△2,988	△30.2%
経常利益	9,619	11.6%	6,400	8.3%	△3,219	△33.5%
当期純利益	6,462	7.8%	4,700	6.1%	△1,762	△27.3%

期中平均 為替レート	ドル	110.44 円		105.00 円		
	ユーロ	130.35 円		120.00 円		
	人民元	16.71 円		15.50 円		
	バーツ	3.42 円		3.40 円		

セグメント別 通期業績予想



(百万円)

工作機械事業

		2018年12月期	2019年12月期	増減	
		実績	計画	金額	率
売上高	● 工作機械事業	58,607	50,300	△ 8,307	△14.2%
	● 産業機械事業	11,155	10,500	△ 655	△5.9%
	● 食品機械事業	6,560	8,400	1,839	28.0%
	● その他事業	6,392	7,600	1,207	18.9%
		82,716	76,800	△ 5,916	△7.2%
セグメント利益	● 工作機械事業	9,988	7,300	△ 2,688	△26.9%
	● 産業機械事業	802	600	△ 202	△25.3%
	● 食品機械事業	674	850	175	26.0%
	● その他事業	1,030	800	△ 230	△22.4%
		12,496	9,550	△ 2,946	△23.6%
	調整額	△ 2,607	△ 2,650	△ 42	1.6%
	営業利益 合計	9,888	6,900	△ 2,988	△30.2%

- ✓ 国内は老朽化設備の更新需要もあり堅調に推移する見通し。
- ✓ 北米は医療関係を中心に安定した需要を見込む。
- ✓ 欧州はイギリスのEU離脱による地政学リスクもあり、微減を見込む。
- ✓ 中華圏は、米中貿易摩擦による投資判断の先送りなどにより、受注・販売が減速する見通し。
- ✓ タイ・マレーシアなどの自動車関連を中心に堅調に推移する見通し。

産業機械事業

- ✓ 北米では自動車関連を中心に堅調に推移する見通し。
- ✓ 中華圏は米中貿易摩擦の影響による影響により減少する見通し。
- ✓ アジア地域では自動車関連向けの高精度な機械需要が増加しており、堅調にする見通し。

食品機械事業

- ✓ 高品質な麺需要が引続き見込まれるほか、製菓、包装米飯・包装惣菜など製麺業界以外の販売が拡大していく見通し。

その他事業

- ✓ 精密金型・精密成形事業及びセラミックスの外販も引き続き堅調に推移する見通し。

設備投資／減価償却費／研究開発費 予想



✓ 2019年12月期の各項目に関する予想については、以下の通り。

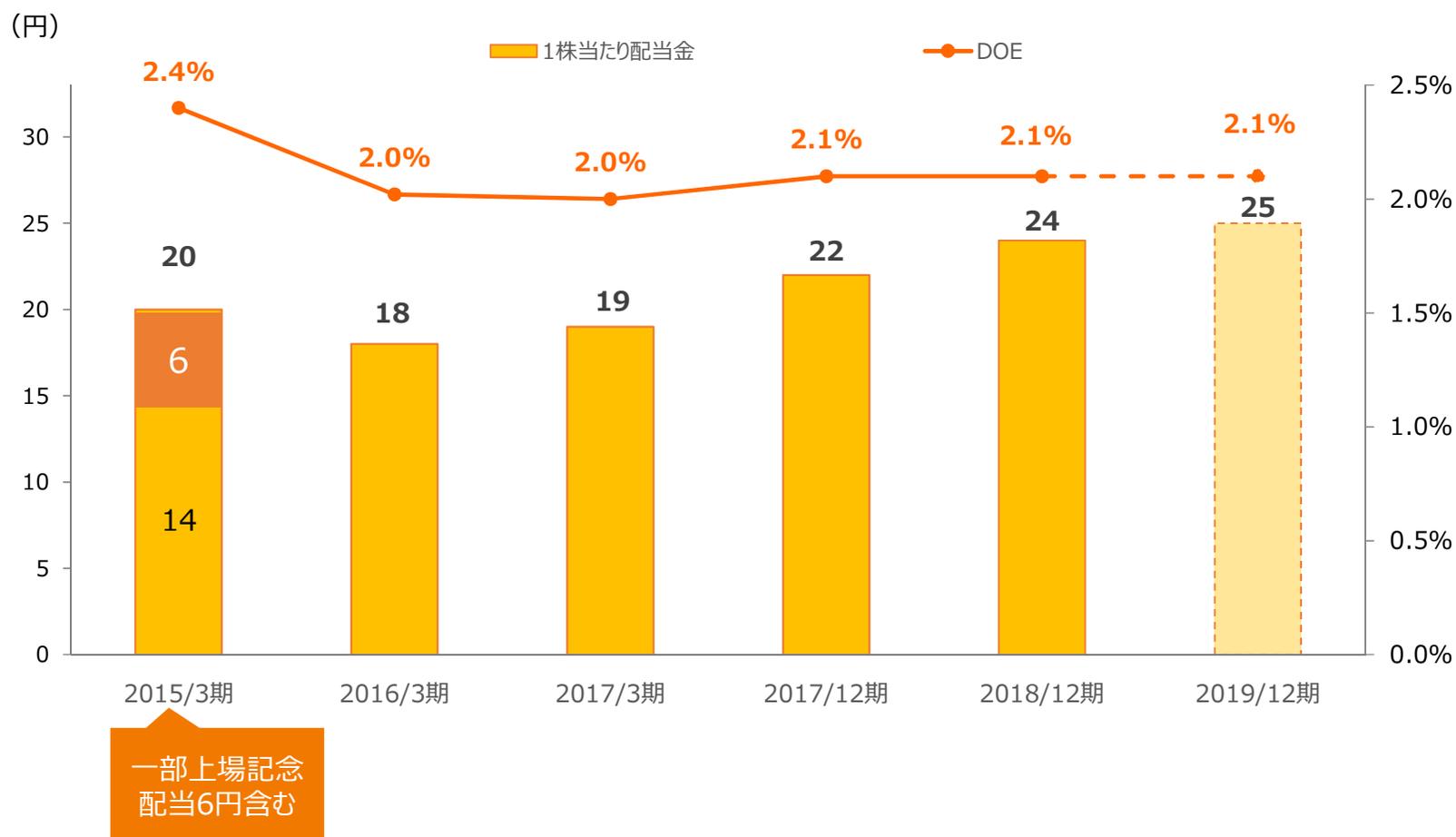
設備投資	<p>設備投資は約45億円（前期比△40億円）を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none">・精密金型・精密成形事業 生産能力増強 約6億円・セラミックス 生産能力増強 約4億円・加賀事業所 生産性向上に向けた生産設備の導入・更新
減価償却費	<p>減価償却費は約34億円（前期比＋3億円）を見込む。</p>
研究開発費	<p>研究開発費は約42億円（前期比＋3億円）と高水準を維持する見込み。</p> <ul style="list-style-type: none">・金属3Dプリンタ関連の研究開発・新電源、次世代CNC等の要素技術、次世代技術の開発

IV. 株主還元

株主還元方針及び配当予想

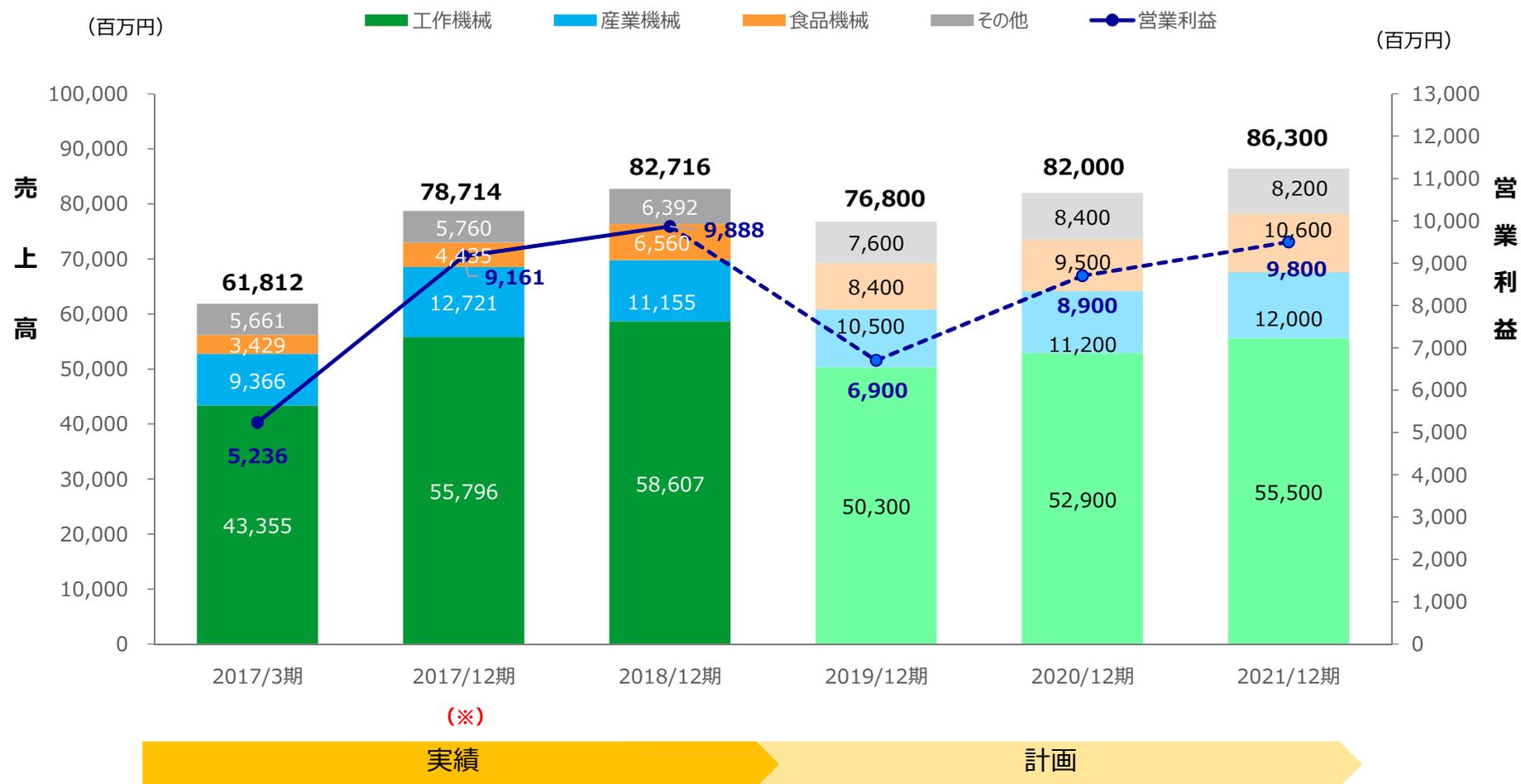


- ✓ 配当方針：株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2018年12月期の年間配当金は、24円の予定（中間12円、期末12円）
- ✓ 2019年12月期の年間配当は、1円増配の25円の予定（中間12円、期末13円）



V. 中期計画

2021年12月期までに、売上高863億、営業利益98億を展望。



※2017年12月期は、比較参考のため全社2017年1～12月の1年間に換算した数値を表記しています。

(参考資料)

国内外の拠点



Sodick America Corporation(San Jose)



Sodick, Inc. (Chicago)



Shanghai Sodick Software Co., Ltd.



宮崎事業所



加賀事業所



本社/技術・研修センター



Sodick Europe Ltd. (U.K.)



福井事業所



Sodick Deutschland GmbH (Germany)



Sodick Korea Co.,Ltd.



Sodick (Thailand) Co., Ltd.



Sodick Singapore Pte., Ltd.



Sodick (H.K.) Co., Ltd.



Sodick Amoy Co., Ltd.



Sodick (Taiwan) Co., Ltd.



Suzhou Sodick Special Equipment Co., Ltd.

本社

生産拠点

開発拠点

販売・サービス拠点

主な展示会への出展情報

✓ 国内外の展示会へ参加し、積極的な営業活動を展開いたします。

期間	開催地		展示会	概要
3/4~9	台湾	台北	TIMTOS (Taipei International Machine Tool Show)	
4/15~20	中国	北京	CIMT (China International Machine Tool Show)	
4/17~20	日本	東京	インターモールド2019 (第30回金型加工技術展)	
5/8~11	タイ	バンコク	INTERMACH THAILAND	
5/14~16	USA	マサチューセッツ	EASTEC	北米東部地域の工作機械展示会
5/20~23	USA	ミシガン	Rapid	3Dプリンタの展示会
5/21~24	中国	広州	Chinaplas 2019 (国際プラスチック・ゴム産業展)	
5/22~25	マレーシア	クアラルンプール	METALTECH 2019	
5/27~31	ロシア	モスクワ	Metalloobrabotka (international show for the machine tool and metalworking industry)	
6/19~22	タイ	バンコク	Intermold/Interplus	
7/2~5	ベトナム	ホーチミン	MTA Vietnam (International Precision Engineering, Machine Tools and Metalworking Exhibition & Conference)	
7/9~12	日本	東京	FOOMA JAPAN 2019 (国際食品工業展)	食品機械の展示会
7/17~20	インドネシア	スラバヤ	Manufacturing Surabaya 2019 (The 15 th International Manufacturing Machinery, Equipment, Materials and Services Exhibition)	
9/16~21	ドイツ	ハノーバー	EMO2019	世界最大級の工作機械展示会
9/24~29	アメリカ	カリフォルニア	WESTEC	北米西部地域の工作機械展示会
10/16~18	ベトナム	ハノイ	MTA Hanoi	
10/16~23	ドイツ	デュッセルドルフ	K 2019 (国際プラスチック・ゴム産業展)	射出成形機 欧州にて初出展
10/23~26	日本	名古屋	MECT2019 (メカトロテックジャパン2019)	国内最大級の工作機械見本市
11/20~23	タイ	バンコク	METALEX THAILAND	
12/5~8	インドネシア	ジャカルタ	Machine Tool Indonesia 2019	

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835